

沖退教だより

第 53 号

連帯 平和 親睦

沖 縄 県 退 職 教 職 員 会

会長 仲村勝彦

〒902-0066

那覇市大道 172-6

教育会館内

電 話 0 9 8 - 8 8 6 - 7 7 8 8

F A X 0 9 8 - 8 8 6 - 7 7 8 7

新年あけましておめでとうございます

としはうまは
年の走いや馬の走いと言うように、沖退教の組織活動も今年で 55 年を迎え、会員の親睦と退職者の生活と権利を確立するために頑張ってきました。

私たちは戦後の沖縄のきびしい状況の中で「教え子を再び戦場に送るな」を組織の基本方針にすえ頑張ってきました。

日本の政治体制は戦後 81 年を迎えて、去る大戦の非常を顧みず、平和憲法（第九条、戦争の放棄）をふみにじり、再び戦争への道を歩む状況になっています。

高市政権になって、安保三文書改悪・台湾有事は日本国の存立危機と言って、米国との安保条約体制を強化する動きを見せています。台湾有事を煽り、南西諸島の軍事化・沖縄県民を九州に移動させるなど、戦争体制を強化しようとしています。

私たち日本国は、第二次世界大戦の罪悪を反省し、決して戦争を起こしてはなりません。アメリカの戦争への道を許さず、反戦平和の闘いを更に強化しようではありませんか。

今年は沖縄県知事選挙を始め、各市町村の選挙があります。来る 1 月 25 日に投開票の名護市長選挙があります。辺野古新基地建設に反対する翁長久美子さんが立候補を表名しています。平和と名護市民の生活を守る翁長久美子さんの当選をめざし頑張りましょう。

最後に今年は、日退教九州ブロックの研修会と定期総会が沖縄で開催されます。会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

大阪府退職教・大阪府退職女性教職員の会沖縄フィールドワーク

10 月 14 日～16 日、大阪府退職教・大阪府退女教の 40 人のみなさんが、沖縄フィールドワークで来県しました。来県 1 日目は、沖教組教育会館「慰霊ホール」で講演会を行いました。講演に先立ち、「慰霊ホール」の成り立ちを沖教組書記長の澤岨優子さんに説明してもらいました。対馬丸で遭難した児童と教職員戦没者を祀ってあるとの説明を受け全員で黙祷を捧げました。

戦後 80 年の節目に慰霊ホールの意味を知り、参加者の皆さんは感慨深そうでした。

1 日目は安次嶺美代子さん「沖縄の地位協定の成り立ち」、宮城晴美さん「性暴力と家父長制度」について講演をお願いしました。2 日目は仲里正弘さんのガイドで辺野古座り込みに参加し、3 日目、北上田毅さんに辺野古基地建設の現状を報告してもらいました。

沖縄と連帯する日退教第 14 次沖縄交流団来県

12 月 1 日、教育福祉会館において、日退教第 14 次沖縄交流団との学習会がありました。開会は、日退教平岡良久会長の挨拶、仲里正弘高退教会長の歓迎のあいさつを行いました。講師の奥間政則さんの紹介に続き「辺野古の軟弱地盤・海砂問題」の講演に移りました。

奥間さんはご自身がドローンを使って撮影した資料を基に、辺野古の埋め立ての現状や問題など説明していただきました。辺野古新基地を作らせない運動をより一層広めなければならないと参加者一同、意を強くしました。講演会後の親睦交流会では、日退教は、北海道から大分県まで 12 人の参加があり、和やかな内に交流会を終えました。

12 月 2 日は、仲里正弘さんの案内で、沖縄市ヒストリー空港通り見学し、辺野古キャンプシュワブゲート前抗議行動に参加しました。

名護市長選 翁長久美子さんを推薦！



2026 年 1 月 25 日投開票の名護市長選挙に、翁長久美子さんが立候補を表明しました。

翁長久美子さんはこれまで名護市議を 4 期勤め、名護市政に関わって来ました。翁長久美子さんは、立候補に「市民の暮らしと命を守る」とし、「アップデート名護」をめざすとしています。また辺野古新基地建設についても「負の遺産を未来の子どもたちに背負わす訳にはいかない」と反対の立場に立っています。

沖退教は、「平和と市民の暮らしを守る政治」をめざす、翁長久美子さんの推薦を決定しました。

翁長久美子さんの勝利をめざし、頑張りましょう。

女性会員新春のつどい

日時 2026 年 2 月 13 日（金）11：30～14：30

場所 教育福祉会館

会費 2,000 円

＊ 今年は午年（85 歳）のトウシビー祝いです。各支部
該当者の氏名報告をお願いします。